

第44号  
題字 佐田一郎

発行/前橋商工会議所青年部(緑水会) 前橋市日吉町一丁目8番地の1 編集/青年部総務広報委員会  
TEL 027-234-5111 FAX 027-234-8031 URL <http://www.maebashi-yeg.com>

# 代表幹事今年度の方針



前橋商工会議所青年部

代表幹事 嶋田 大和

会員皆様のご推挙により、昨年度に引き続きまして平成十七年度代表幹事となりました嶋田です。昨年度一年間を一生懸命・自分への挑戦でやってみりました。私たち前橋商工会議所青年部(緑水会)が地域社会とどのような関わり合いを持っているか、役割を担っているかを会員の皆様に発信し、それとともに、当緑水会のネームバリュー・信頼ある存在感を、対外的にさらに構築してまいりました。会員の皆様・事務局の皆様の協力には本当に感謝しております。また行政をはじめとして、お世話になりました皆様にも、この場をお借りいたしましたお礼を申し上げます。ありがとうございます。

今年度の基本方針に掲げさせていただきましたが、「リーダーシップの素養を磨き、変化に対応する能力を鍛える」。青年経済人として、目標・理念を持ち、企業においても地域においても情熱をもって取り組む。そのうえで、数多くの皆様と接し、数多くの知恵や考え方を吸収することによって、未来を切り開いていく能力を磨いていく。幾多の社会状

況においてもそれぞれ目標達成への道を探求する能力を鍛えたいと思います。

次に組織として、「強靱で柔和な組織力をもつて地域社会をリードする団体となる」。私たちは異業種の集まりであり、各企業の暖かいご理解により、青年部活動に参加させていただいております。組織ですから役割はありますが、皆出身企業からの代表です。個々のもつ特色を結集して、困難な問題を跳ね返す強靱さを持ち、ある時には、大きな荒波をも取り込んでしまう柔和さをもつて地域社会に貢献したいと思います。

そして、「地域社会から信頼され愛される団体となり、自分の役に立つ青年部となる」。会員一同がさらなる高い志を持って、活動していきたく存じます。皆様のご支援ご協力をお願い致しまして、今年度の方針とさせていただきます。一年間よろしくお願い致します。

# 十七年度、副幹事の抱負



副幹事

石井 繁紀

昨年に引き続き、副幹事を仰せつかりました。昨年は二年目にして少しは余裕をもって取り組めたかなと思つたのも束の間、いよいよ三年目、より一層の責任感を持って取り組んでゆきたいと思っております。

経営者にとって決して優しくない時代が続いています。当会は、本業が優先の大人の会だとはいえ、多くの時間を費やすことも事実だと思えます。しかしながら、様々な人と出会え、深く付き合え、利害関係のないところで精一杯行事の推進をしたことは、経営者として必ず得るものがあると思えます。また、今は気付かなくても、精一杯やったことは、時間がたつて気付くものもあります。私もその一人だと思っています。

その場に立たなければ見えないものは多いと思います。見えなかったものが見えてくると思ふや行動が変わります。

青年部は、人生の四十五才まで限られた期間です。積極的に参加してみるほど価値が高まると思ふので、会員の皆様方には、若く体力のあるうちに、ぜひ時間を工面して、この機会を生かして頂きたいと思ふます。

副幹事今年度の抱負



副幹事  
田島 宏明

二年目の副幹事を仰せつかりました。事業推進委員会と経営研究委員会を担当させて頂いていただきます。昨年度の反省をふまえ、より多くの会員が当会にはいつて良かったと思っていただけける環境づくりに尽力いたします。当会の活動が会内だけの満足に終わらず、世間一般に対しては、会員の名が一層広く深く受け入れられ、会員、会員企業がまた認められるという理想形に少しでも近づけていきたいと考えています。

最近、大河ドラマ「新選組！」のDVDを一気に視聴してから、新選組をきっかけに幕末〜明治維新に興味を抱き少々本を読み始めました。近藤勇も土方歳三も享年35歳。坂本龍馬は享年33歳。桂小五郎も西郷隆盛も当時まだ40歳前後。こんな若者達が、大きくかわっていく時代の最前線を走っていました。現在の環境とは直接比較できませんが、当時の若者の気概を思うと、不惑の齢をすぎたばかりの身としては、自分は一体何をしているのだらうと反省させられます。結果は後から評価されるもの、その評価も時代がかわればまたかわるもの。若者は若者らしく、私達青年部も失敗を恐れず、一時の評価を恐れず行動したいもので

す。

楽しい一年間になりますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

副幹事今年度の抱負



副幹事  
伴 卓

本年度、嶋田代表幹事より副幹事の指名をいただき光栄に思います。これまでに二度の委員長を経験させて頂いたのですが、更なる大役に身の引き締まる思いです。

さて、今年度は代表幹事の方針を受け、その執行役の一翼を担うとともに今までは違った視点で緑水会を見てみたいと思えます。

私達は異業種の集まりであり、メンバーは自社の経営に携わる者という共通点はあるにしても、その関わり方は様々です。現在のように価値観が多様化する中、全ての事業に全てのメンバーの満足を得るのは難しくなってきたと感じています。しかし、私達は数多くのメンバーの協力が必要な事業を数多く持つています。多くのメンバーの協力を得るためには私達が緑水会で活動する目的や意義を再確認する必要がありますと考えています。価値観が多様化する中でも、緑水会のコアな部分をメンバー全員で共有し、深い満足を得られるよう、本年度は緑水会

を見つめなおす一年にしたいと思えます。

最後になりますが、会員の皆さん、事務局の皆さん、一年間よろしくお願ひします。

監事としての抱負



監事  
安達 一志

昨年度に引き続き監事を仰せつかりました。いよいよ卒業年度で緑水会最年長となつてしまいました。

『不惑』を過ぎ、『天命』に向かうこの五年はいつたいたいのような展開になるのでしょうか。当会に入会させて頂いたのは平成元年七月、バブルの泡がはじけた頃でした。それから十六年間、たくさん先輩方に色々お教え頂きました。今緑水会を引っ張っているのは『不惑』に近い年齢の方々です。まだまだ卒業には時間があります。仕事も大変な年齢だとは思いますが、今しかできないこと、今学んでほしいことが沢山あります。どんどん吸収して自分を育てて下さい。なんだか卒業の挨拶のようですが、残された期間、まだまだ頑張りますので、是非お誘い下さい。最後の一年を皆さんと楽しみたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

監事としての抱負



監事  
長谷 浩克

今年度監事に就任させて頂きました。自分では若いつもりでいたのですが、気がついてみると、もう卒業まで残すところあと二年となり、自分より年長者は、ほんの数人しかいない状況になってしまいました。残りの年数を自分のため、あるいは緑水会のために有効に使っていくためには、どうすればよいかと考えたときに、これといった適当な答えが見つからない状況ではあります。しかしながら、他の会員の皆さんより、やや長く生きてきたなかでの経験や緑水会に比較的深く関つてなかで感じたこと、また、他の会社より、外部から非常にシビアな厳しい目で見られる上場会社に、勤務していることで得られた知識や経験を、会員の皆さんに平易に共感いただける内容で伝えていければと思います。

私が今年監事に指名されたことで、嫌な奴が監事になったと思つておられる方もいるかもしれませんが、会員の皆さんが不愉快になるようなことも言わせていただきます。しかし、それが今年の私の役回りだと考えておりますのでよろしく。

総務広報委員長としての抱負



総務広報委員長  
飯塚 正人

こんにちは。平成十七年度総務広報委員長をさせて頂きます飯塚正人です。嶋田代表幹事のもと、四人の委員長と力を合わせ、代表幹事の女房役として嶋田代表をより立てていきたいと思えます。

私が緑水会に入ってはや十九年。残りも三年余りになってしまいました。髪の毛もまだ多かった二十代の青年として入会し、緑水会の活動を通して様々な人に出会い、様々な経験をして、今の私という人間があるのだと思えます。

定年を数年後に控え、当会にいくらでも恩返しをできればと考え、今回委員長を引き受けました。とは言いますが私の力など微々たるもの、委員会の仲間たちや会員の方々の強力無くしては何もできません。今の私には髪の毛よりも皆さんの協力が必要です。

今年度も七月の愛知県での全国大会、十月の関東大会、新春例会、総会といった委員会での活動や、緑水会での行事、又、二年後の創立三十周年に向けての準備も始まり、忙しい一年になりそうです。その一つ一つを仲良く・楽しく・実りあるものになりたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

会員交流委員長としての抱負



会員交流委員長  
永井 鉄平

今年度、嶋田代表幹事より会員交流委員長を仰せつかりました永井です。

私も早いもので、緑水会に入会して九年目を迎えました。入会当初は決してほめられる委員でなかった様に思いますが。しかし、良い先輩に出会い、異業種の仲間も出来て、会に行く事が面白くなりました。そして役員になると、責任も出て来て、ますますこの会に入会して良かったと思うようになりました。

この様な思いを新入会員の皆さんに持つてもらえる様に私を始め、副委員長、理事、委員でサポートして行きたいと思えます。それと当委員会の担当事業にはファミリィ親睦を目的とした事業が多くあります。私達が緑水会活動をしていられるのも家族の協力なくしてはなしえませんが。その日は私達会員だけでなく、その家族が楽しめる事業を考えて行きたいと思えます。

最後になりますが、私も新入会員時以来の会員交流委員会ですし、初めての委員長です。その為、皆様にご迷惑をかける事があると思えますが、役員の方々と委員の方々にサポートしてもらいながら会のために尽力して行きたいと思えます。

一年間御協力よろしくお願い致します。

経営研究委員長としての抱負



経営研究委員長  
福田 聡樹

本年度、経営研究委員長を拝命いたしました。『経営』は入会翌年に一度経験したきりで、全くの初心者であり、しかも主幹行事は研修会や行政との懇談会など、最も不得手な分野ではあります。実力ある先輩方を差し置いて委員長になるなど身の程知らずなのですが、自ら望んで緑水会に入ったからには、行ける所まで行ってみたいと考えお受けすることにいたしました。頼りない委員長ですが、委員会メンバー構成は他に負けていないと自負しています。

委員会の予定行事の一つに「ビジネスチャンスの促進」を挙げました。緑水会の組織を利用して会員各企業のPRができる企画を考えています。委員会メンバーから出されたアイデアを基に、具体的なプランを検討し、皆さんに発表する予定です。どのような形になるか、またどれだけの効果を得られるか、今はなんともいえませんが、厳しい経済事情の中で、あえて前橋全体のために尽力している緑水会員の実益に役立つことができれば幸いです。

いす。

一年間精一杯努めますが、歴代の委員長のように人を育てる、指導するといった事には自信がありません。しかし委員会メンバーと共に大いに楽しみながら一歩でも前進できるように願っております。

地域開発委員長としての抱負



地域開発委員長  
前田 修

青年部に入会をして八年目を迎えて二度目の委員長を仰せつかる事になりました。委員会メンバーも自分より若い方が多く、今までは全く違った意味での自分の置かれたポジションにとっても身の引き締まる思いであります。前回の委員長経験を生かし、特に委員長間のチームレズな連携で青年部全体が盛り上がるよう頑張っていきたいと思えます。

昨年、前橋は大胡・宮城・粕川の三町村と合併を行い人口32万人の大きな市となりました。地域開発委員会としては、この一年間を通して「活力ある街づくり」をテーマとし、前橋市の活性化につながる様な事業活動や広域商工会メンバー等との交流を深め、これらの活動を通じて得た情報から沢山の引き出しを増やし、より青年部の和が広がる様に努めていきたいと思っております。

今年一年間、会員メンバーの皆様と事務局のご協力を頂きながら頑張っていたと思いますので、宜しくお願い申し上げます。

### 事業推進委員長としての抱負



事業推進委員長  
小野 靖浩

今年度、事業推進委員長を仰せつかりました小野靖浩です。入会して五年目という緑水会経験の浅い私が、嶋田代表のもと、身に過ぎる大役を拝命しまして身が引き締まる思いです。一年間より一層の緊張感をもって望み、緑水会活動に貢献して行きたいと思っております。

さて当委員会の担当は、他の委員会と比べて、前橋市や観光協会等の他団体の協力を得て開催するイベントや行事が多く、会員の皆様には裏方としてのお手伝いをお願いする事が多いと思えます。各行事ともこれまでの歴史を尊重しつつ、より多くの市民の方に参加し喜んでいただけるように、また会員の皆様にも、より楽しんでいただける様にできる様に、微力ではありますが一年間頑張っております。

とは言うものの、実際に新年度が始まってみますと、なかなか思うようには行かないなあ、というのが実感ですが、随時皆様からのご助言をいただき、変えた

方が良い所は少しずつでも変えて、来年度の委員長に引き継ぐ迄の一年間、よりよい委員会活動とし、緑水会を通して地域に貢献できるように精一杯努力する所存でございますので、皆様の御指導、御協力の際、宜しくお願いいたします。

青年部に入会して一年未満の新入会員の皆様には抱負や自己PRをして頂きましたのでよろしく願いいたします。



「自社PR」  
入会  
平成16年6月4日  
総務広報委員会  
(株)C.I.A  
真田 昌幸

弊社は、損保ジャパンの代理店をしている仲間が合併し、平成16年2月に設立したばかりの新しい会社です。取引保険会社は、損害保険ジャパン・損保ジャパンひまわり生命・第一生命の3社です。私たちは、お客様への感謝の気持ちを忘れずに、「お客様が、何を求めているのか?」、「万一の時、何が必要なのか?」、「どうすれば、少しでも力になれるのか?」を常に考えながら日々の仕事に取り組んでおります。

日常生活や仕事をしていく上で、さまざまなリスクに対応しなければならぬ今日、弊社は、青年部会員の皆様は勿論、多くの方々に支持される保険代理店を目指し、日々努力してまいりますので、ご

指導、ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。



「自社PR」  
入会  
平成16年6月4日  
事業推進委員会  
イーケーエレベーター(株)  
海老沼 孝之

昨年、(平成16年6月)入会させて頂きました私、イーケーエレベーター株式会社 海老沼孝之です。

入会して、間もなく一年が経過しようとしていますが、各行事、勉強会も楽しく参加させて頂いています。ここから得るものも多く、今後も一生懸命頑張りますので、宜しくお願いします。

さて、私共、イーケーエレベーター株式会社のご紹介をさせて頂きます。イーケーエレベーター株式会社は、昭和39年7月に創立し、今年第42事業期に入っています。元々高崎市井野町で、事業を開始し、平成7年8月に本社工場を、現住所の群馬県群馬郡箕郷町に移転し、大型機械等の設備を整えて、新たな事業を開始しました。

弊社では、エレベーターの設計・施工・保守管理を行っており、特に主力となっている製品は、荷物用の大型エレベーターです。

主に、流通センターや、工場、倉庫等の建物に設置しています。又、荷物用のエレベーターは、お客様の用途に合わせた設計が必要で、その都

度お客様の使用目的に合わせたサイズのエレベーター等を製作しています。これからも開発を重ね、お客様にもっと優しく、より安全な昇降機創りを目指します。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻をお願い致します。簡単ではありますが、ご挨拶とさせて頂きます。



「自社PR」  
入会  
平成16年7月5日  
会員交流委員会  
(株)宇野製作所  
宇野 友洋

皆様はじめまして。私、東大室町にて板金加工業を営んでおります(株)宇野製作所、宇野友洋と申します。昨年の七月に当会への入会を認めていただき、一年が経とうとしております。その間、諸先輩方には何かと面倒を見ていただき、若輩者の私にとっては、非常にありがたい経験をさせて頂いていただいております。

今後より多くの活動に参加させていただき、ゆくゆくは緑水会の発展のために微力ながらお役に立てればと考えております。また、本業でも皆様と関係を深め、お手伝いさせていただけたらと思えます。「金属の板を手作りにて成形する会社」とお気に止めただければ幸いです。少量多品種に対応!品質・環境ISO認証取得!どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

「自社PR」



入会  
平成16年10月4日  
会員交流委員会  
（株）ジャスト  
萩原 美和

昨年五月に創刊したフリーマガジン「月刊Men（ヴィアン）」。スタートメンバーの一員として入社して、早一年。営業・取材・撮影と一日は飛ぶように過ぎてゆく。締め切りに追われながら泣いたり笑ったり…。どんなに大変でも、発行後クライアント様の「よかったよ」の声に編集者冥利を感じる。それと同時に、県内30万部発行の小誌が社会に与える影響の大きさを思い、身が引き締まる。

小誌のコンセプトは「ちよつと背伸びしたい20代からの大人のマガジン」。30代という階段を登った私は30代の感性で、同世代の読者に向けて情報を発信していきたく思っている。そしてそのヒントは緑水会の活動の中にもたくさん隠れているに違いない。これからも人との出合いを大切に、公私共に充実した日々を送りたいと思う。

「自社PR」

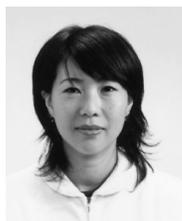


入会  
平成17年1月7日  
会員交流委員会  
（株）東和銀行本店  
太刀川 洋樹  
営業部

当行は群馬・埼玉・東京・栃木の四都

県で91店舗を展開しております。このネットワークを活かして各地域の皆様との活発な経済交流を支援するとともに、豊かな暮らしづくりへのお手伝いを通じ信頼を築きあげてきました。また、「役に立つ銀行」「信頼される銀行」「発展する銀行」という経営理念のもと、多様化・高度化するお客さまのニーズに的確に対応するために、金融機能の充実とサービスの向上に努めてまいります。地域への総合金融サービスの提供を通じて、中小企業を中心とした事業者や個人のお客さまとの取引の密度を高めながら、営業基盤の拡充、資産運用の効率化を回り、地域社会から信頼され、愛される「コミュニティバンク」をめざします。

「自社PR」



入会  
平成17年2月4日  
会員交流委員会  
（株）徳永  
吉田 恵

人間が快適に暮らす事・地球環境を守る事。この二つを調和させるために、徳永は「地球にやさしいクリーンなエネルギーの供給」と「快適空間の提案」をテーマに掲げました。生活に必要なエネルギーの中でもプロパンガスは、特にクリーンな燃料とされています。このプロパンガスを主要扱い製品としながら、ガソリン・灯油・重油・軽油などの総合燃料へと事業分野を拡大しています。さらに徳永では、エネルギーをより広

い分野からとらえ家電や冷暖房設備、厨房設備、住宅設備機器、イタリアにペンション、ブドウ栽培やワイン醸造にいたるまで、多岐にわたる分野へ進出しています。

「自社PR」



入会  
平成17年2月4日  
会員交流委員会  
（株）西建  
平形 敦史

この度、前橋商工会議所青年部に入会させて頂き、会員の皆様と公私にわたり交流させて頂けるのは、誠に光栄であると感じているところであります。

さて、弊社は木製建具、家具の製造販売、店舗内装設計施工等を主業務とする木工部門と、エクステリア工事、造園工事、舗装工事、解体工事等を主業務とする土木部門とで構成する建築関連企業であります。又ここ数年の取り組みとしては、中国をメインとする海外での家具、建材等の製造委託を行っております。海外事業におきましては、為替、政情、外交関係等に留意する必要があると思われませんが、弊社としては、今後さらに伸ばして行きたい事業であると考えております。

弊社ホームページ  
<http://www.t6.ocn.ne.jp/~woodface/>

「コンピュータ業界」



入会  
平成17年3月4日  
会員交流委員会  
アイティーエス(株)  
岡庭 郁夫

私がコンピューター関係の仕事について、早いもので20年が経とうとしています。当初はコンピューターメーカーのロゴを入れた名刺でディラーという、優遇された中でビジネスをしており、今思えば良い商売をさせていただいております。

現在では、パソコンの価格も10万前後から購入できるようになり、インターネットの急速な普及も拍車をかけて、相当な台数が普及致しました。

ソフト面においてもWindowsが標準OSになり、アプリケーションも簡単に開発できるようになり、カスタムメイド（手作り）からERP（トータルパッケージ）に移行しつつあります。

ビジネス展開においても、業種に特化した専門的知識や経験豊富なセールスとエンジニアがいないと、仕事を受注することが難しくなっております。

私どもアイティーエス株式会社では、業種特化型ビジネスに取り組んでおり、現在では、製造業中心スタッフを抱えシステム等の販売を行っており、会社も4年目を迎え、20年後には、県内のコンピュータ業界の中でNo.1を目指し、がんばっていききたいと思っております。

「自社PR」



入会  
平成17年3月4日  
会員交流委員会  
前橋成形工業㈱  
亀井 太一

当社は戦後の混乱期に産声をあげ、昭和・平成の激動の時代に、会社創業以来半世紀にわたる歴史を刻むことができた。これもひとえにお客様に恵まれ、私どもに協力していただいている皆様のおかげであると、厚く感謝申し上げます。現在当社では、プラスチック成型に使用する精密金型の設計製作から、その成型品の製造まで一貫した管理のもと、お客様の製品製造の一端を担わせていただいております。製品群は、超精密部品から機械部品、重要保安部品まで多岐にわたり、成型技術を通じて企業間の信頼関係を構築させていただいております。日頃より製造技術の向上を目指し、「納期・品質・コスト」を指針に、それを支える社員の意識高揚を経営の柱としながら、そのために、お客様の信頼に応えられる「明るく、楽しい企業づくり」に邁進したいと思っております。

「自社PR」



入会  
平成17年4月1日  
会員交流委員会  
朝日印刷工業㈱  
石川 達矢

私が席を置く朝日印刷工業株は昭和24年に創立以来、書籍、雑誌類やポスター、パンフなどの印刷からCD、ホームページ制作など、様々なお客様の要望に的確に応えるべく、高品質な製品づくりをモットーに日夜、励んでおります。お客様で今まで当社の製品群は、各方面から高い評価を頂いてまいりました。皆さんもご存知の通り、20世紀の終わりに急速に進んだデジタル化の波は、印刷という仕事を通して情報に関わってきた弊社にとっても大きな画期となったことはいうまでもありません。従来アナログであった工程もDTPと総称されるデジタル技術に置き換えられ、今や、コンピュータでデザインし、そのデータが直接印刷用の原版作製に繋がるほどまでに進化しています。印刷業は、15世紀のグーテンベルグまでさかのぼることができますが、今に至るまで価値のある情報普及をするという重い役目を担い続けてきました。今、デジタル化・ネットワーク化によって情報流通は過度とも言える状況にあります。そうした情報環境を見据えつつも時代と歩みを共にし、地域、社会の未来づくりにいささかなりと貢献できればと衷心から考える次第です。今後ともよろしくお願いいたします。

◎第十四代ローズ・クイーン決定



本年度の第十四代ローズ・クイーンとして、右から  
設楽あゆみさん(24)  
関根 香織さん(20)  
齋藤 陽子さん(19)  
の3名が誕生。今年も、市内から「バラ」にふさわしい  
気品のある女性43

名の応募があり、四月一〇日の一次審査を経て、四月二十四日の最終審査会で選考された。

『選考された以上は重責を胸に、人との出会いを楽しみながら一期一会の精神で観光大使として多くの方々へ前橋市の良い所を沢山紹介して、《前橋が前よりもっと好きになった》《前橋は素敵なお街です》と感銘いただけるように一年間を努めさせていただきます。』と三人からの抱負。どうぞ、一年間よろしくお願いたします。

◎まず釣り大会を開催



今年も、五月恒例のまず釣り大会が六本木釣堀(旧宮城村)にて、65名の参加者で盛大に開催された。当日は、すがすがしい

天気だったせいか釣りよりバーベキューのほうが盛り上がったのでは  
……



◎第12回チャリティゴルフ大会を開催

毎年恒例の、第12回目となるチャリティゴルフ大会が平和ランドゴルフ倶楽部で盛大に開催された。当日は、晴天にも恵まれ桐生・伊勢崎・渋川・藤岡・太田・沼田の各単会、大胡・宮城・粕川の商工会青年部の方々のご参加をいただき、また、OBの方にも多数ご参加頂き、総勢で169名の参加者が一日芝生の上で、心地よい汗を流していた様子でした。皆様のご協力により、沢山のチャリティ金が集まりました。このチャリティ金で車椅子を購入し、前橋市へ寄贈させていただきます。

